

令和6年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

ひまわり学級

教科	指導上の課題の分析	授業改善の具体的な方策	評価（成果と課題）
国語・算数	<ul style="list-style-type: none"> ○個の課題が大きく異なっており、学年毎の学習を基本とすると、個に合った学びを進めることが難しい。 ○学習内容の定着に困難を感じている児童が多くいる。 ○2 学年の授業を 1 つの教室で行っているため、パーテーションやカーテンで仕切っているにもかかわらず、声や活動の音が気になって集中できない児童が多くいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○講師と連携し、小グループを編成して学習する時間を設けたり、個別で個に合った課題に取り組む時間を作ったりする。 ○反復練習に拘らず、認知特性に応じたアプローチ等、各児童に合った学び方を提案・実践する。 ○活動的な授業と静かに集中して取り組む授業が重ならないように、担任間で時間割を確認し合い、落ち着いて取り組める環境を整える。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○運動に関する能力や意欲の個人差が大きい。 ○ルールを守ることや勝敗を受け入れることが困難な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各活動で個別の目標を設定し、運動の楽しさや達成感を味わえるようにする。 ○きまりを守って活動することの大切さについて繰り返し伝える。活動前にルールを共有し、活動後、気持ちをコントロールできたことを全体で価値づけ学びとしていく。また、勝敗がつく活動を積極的に経験させ、気持ちの整理の仕方を学習する場とする。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○歌唱では、声量や音程のコントロールが苦手な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自信をもって大きな声で歌うことができていることを前向きに評価しつつ、息の使い方や音程の変化などを可視化しながら指導する。 	

図工	<p>○自分の思いを作品に表せない児童がいる。</p> <p>○ハサミやのりなどの用具の使用が苦手な児童がいる。</p>	<p>○いくつか見本を提示し、それらを参考にしながら作品作りを行うことができるようにする。</p> <p>○はさみで切る作業であれば「(刃を) 開く、閉じる、開く、閉じる」など作業を言語化したり、のりを付ける作業であれば付ける場所の目印をつけたりするなど、児童が作業をイメージしやすくする。</p>	
生活単元	<p>○「ルールを守ってあそぼう」では、ルールの共通理解が図れないまま活動が始まり、めあてを意識して活動することができていないことがある。</p> <p>○手指活動では、決まった時間細かい作業に取り組むための集中力がない児童がいる。</p> <p>○調理実習では、久しぶりの実施ということもあり、活動内容や方法を理解していない児童が多い。</p>	<p>○授業の導入では、「遊びの前にルールの確認をする。」ことを指導し、授業の終わりには「ルールを守って遊ぶことができたか。」振り返る時間を作る。</p> <p>○実態に合った頻度で休憩を取り入れる。作品を見合うなど作業の時間だけでなく、鑑賞の時間を設ける。</p> <p>○事前指導を綿密に行い、児童が見通しや目標をもって活動に参加できるようにする。</p>	
生活・総合	<p>○外国語活動では、自分からコミュニケーションを取ろうとする児童とそうでない児童の実態差が大きい。</p> <p>○「タブレットを使って」では、タブレット操作に気を取られ、話を聞けなかったり、時間を守って活動できなかったりする児童が見られた。</p>	<p>○歌や音楽を活用して楽しく授業に参加し、ゲーム等を通じてコミュニケーションを取るハードルを下げる。</p> <p>○「話を聞く際は画面を閉じる」という約束にする。作業終了目安の時間を事前に伝え、時間になったら作業を止めさせる。全員がタブレットを閉じて話を聞く姿勢になったら、切り替えられたことをフィードバックし、話し始める。</p>	